

飲食店のインバウンド集客支援 訪日観光増加が予測される中国・台湾・韓国の旧正月に 外国語版サイトで「春節を祝おう！特集」を開始

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：久保証一郎 以下、ぐるなび）は、訪日観光客の増加が予測される中国・台湾・韓国の旧正月に絡んだ連休に向け、飲食店への送客を促進するために、外国語版サイト（簡体字、繁体字、韓国語）で1月18日から2月29日まで「**春節（韓国語：ソルラル）を祝おう！特集**」ページを開設します。同特集ページでは、この時期に訪日観光客を積極的に受け入れたい83店舗を掲載します。

中国では2月7日（日）～13日（土）、台湾では2月6日（土）～14日（日）に旧正月に絡んだ連休「春節」、韓国では2月7日（金）～10日（水）に「ソルラル」があり、訪日観光客の増加が見込まれています。本日、2016年1月19日の日本政府観光局（JNTO）の発表によれば、2015年の訪日外客数は、1,973万7千人と過去最高を更新し続けています。また、ぐるなびの中国語版飲食店情報サイトへのアクセスは、年末より徐々にアクセスが伸びていることが分かりました。今年の春節間際には多くの訪日観光客による検索が予想されるため、ユーザーの利便性の向上および、積極的に受け入れたい店舗への送客強化を目的として、今回特集を実施いたします。また、「文化の違いと日本でも食べれる春節料理」についてマンガコンテンツを展開いたします。

2016年1月に春節に関する調査をぐるなびの日本全国の飲食店（445店）を対象に実施したところ、2015年の春節時に中国人・台湾人観光客を受け入れる準備をした51%が売上を上げている結果がでています。2016年の春節は2.5店舗に1店舗が受け入れたいと考えており、その理由として、日本人客より回転率がよく、外食費を高く見込めることが分かりました。具体的な対策として、「外国版のメニュー表の作成」や「外国人向けのメニューの導入」などが上げられています。

ぐるなびは、これまで蓄積してきたノウハウを基に、今後も外国人客の受け入れ環境作りを整え、外国人客に日本の食の魅力を伝えるサポートをしていきます。

【特集名】

- ・中国語（簡体字）サイト：「**春節を祝おう！特集**」 <https://gurunavi.com/zh-hans/>
- ・中国語（繁体字）サイト：「**春節を祝おう！特集**」 <https://gurunavi.com/zh-hant/>
- ・韓国語サイト：「**ソルラルを祝おう！特集**」 <https://gurunavi.com/ko/>

【掲載期間】1月18日（月）～2月29日（月）

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ぐるなび コミュニケーション部門 広報グループ

TEL:03-3500-9700

MAIL:pr@gnavi.co.jp

<特集ページ>



簡体字TOP画面



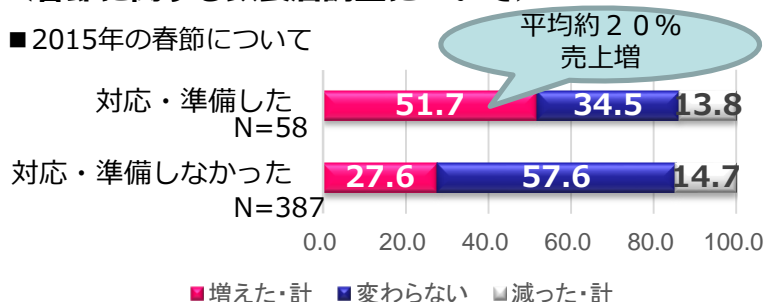
簡体字特集画面



日本で春節料理を楽しめることをテーマにした漫画コンテンツ

<春節に関する飲食店調査について>

■ 2015年の春節について



2015年の春節は、中国人・台湾人観光客を受け入れる対応・準備した飲食店は13%のみでしたが、対応・準備した店舗の51%以上が平均約20%増益している

■ 食事の平均時間

	日本人	中国・台湾人
ランチ平均時間	62分	58分
ディナー平均時間	2時間06分	1時間40分

日本人と中国・台湾人のランチ平均時間はさほど変わらないものの、ディナーは、中国人・台湾人観光客の平均食事時間は日本人よりも少なく、回転率が高いことがわかる。

■ 2016年の春節について



2016年の春節時期に中国人・台湾人観光客を受け入れたいと思っているお店は約40%。つまり、**2.5店舗に1店舗**が受け入れたいと思っている。

■ 受け入れたい理由上位

1	31.4%	近年、お店周辺で中国人・台湾人をよく見かけるから
2	26.7%	中国人客・台湾人客は外食費を高く見込めるから
3	25.6%	2月は1年で売上が落ちる時期だから

■ 受け入れるための準備・対策上位

1	36.0%	外国語メニュー表の作成
2	19.8%	外国語メニューの導入
3	16.3%	外国語のお店ホームページの作成